

## テーマ検討について

一昨年度から審議会の運営方法につきましては、年次報告書の審議及びテーマを決めて議論することに決まりました。

条例の目的である男女共同参画社会の実現に向けて、テーマに基づき議論してまいります。

今年度のテーマは、会長、副会長と調整の上、「多様な性について考える」とさせていただきます。

昨今、多様な性のあり方を理解し、平等な社会参画を目指す動きが高まっています。その背景には、性的マイノリティに対する根強い偏見や差別があるためです。

そこで、市では、多様な性への理解が広がることにより、固定的な性別役割分担意識の解消も進み、男女平等の推進に繋がると考えるため、3月号広報紙の中綴りにて、「性の多様性について考えよう」をテーマに和光市男女共同参画情報紙おるご〜るを発行しました。性のありかたは多様であり、一人ひとりが異なること、世界の同性婚や同性パートナーシップ制度の状況、日本における性的マイノリティの実情を記載し、誰もが生きやすくなるための環境整備として、声がけの仕方や企業、行政の取り組みを紹介しています。

広報紙内で情報提供をすることにより、一定程度の市民には、理解が広まったものと考えておりますが、さらに多くの市民にも理解を広げることが課題です。

性的少数者に対する理解を広めるために、市としては情報提供、啓発、支援をするとともに、市民や企業も情報を受け取り、人権意識を高める努力が必要だと考えております。そこで、今年度は審議会において、市民及び企業に対して性の多様性について理解を広めるためにどのように取組み、啓発していくと望ましいか、市及び市民、企業、地域ができること、意識、行動改革につながるよう提言をしていただきますようお願いします。

審議会の皆様の理解を深めるために、3月に発行した和光市男女共同参画情報紙「おるご〜る NO. 24」、埼玉県・市町村 LGBT 合同研修に参加した資料のスライドを事前資料として同封しましたので、会議前までにご覧ください。また、第1回審議会ではDVDを視聴していただきます。

第2回会議では、議論をしていただき、提言をいただきますようお願いいたします。